

# 2019年9月20日(金)

## 情報セキュリティセミナー

昨今、国立大学法人等において、十分な情報セキュリティ対策を行っていても巧妙な手口により情報セキュリティインシデント（ウイルス感染、不正アクセス、Webサイトの改ざん、情報漏えいなど）が発生しています。情報システムへの依存度が高くなっている現在、大学の運営に支障をきたさないようにしつつインシデントを契機とした様々な事象に対応を講じる必要があります。本講演では、インシデントに対する初期対応を起点とした業務フロー等インシデント管理の在り方という観点で解説をしていただきます。

### 【講演内容】

サイバー攻撃による被害発生に際し、我々が採るべき対応が複雑化している。従来の被害発生機器へのインシデントレスポンスに加え、インシデントを契機とする様々な事象に対処するインシデント管理が求められるようになった。本講演では、導入が進みつつある自動対応システムの動向、Redチーム等を活用した脅威レベル調査、業務フローを考慮した初期対応などを題材に、インシデント管理のあり方について説明する。

### 【講師紹介】



高倉弘喜 教授

**高倉 弘喜 氏**  
国立情報学研究所  
サイバーセキュリティ研究開発センター長

内閣官房情報セキュリティーセンター、厚生労働省、経済産業省、総務省、文部科学省、情報処理推進機構、JPCERT/CC、京都府警、愛知県警、JNSA などにおいてサイバーセキュリティに関する委員会に参加

未知のサイバー攻撃の検知・追跡・対抗策構築に関する研究に従事し、IEEE COMPSAC のサイバーセキュリティに関するシンポジウム委員長など国際会議の運営にも協力

【問い合わせ先】 愛媛大学総合情報メディアセンター

電話：089-927-8803 メール：[center@dpc.ehime-u.ac.jp](mailto:center@dpc.ehime-u.ac.jp)



### 【日 時】

2019年9月20日(金)

14:00～16:00

### 【場 所】

総合情報メディアセンター 1F

メディアホール

### 【講 師】

高倉 弘喜 教授

### 【演 題】

サイバー攻撃による被害発生を  
想定した運用継続手法

### 【対 象】

部局等情報システム責任者

部局等情報システム管理者

部局等ネットワーク管理者

教職員

### 【主 催】

総合情報メディアセンター

### 【セミナー次第】

受 付 13:30～

メディアホール前ホワイエ

挨 拶 14:00～14:05

総合情報メディアセンター長

講 演 14:05～15:35

高倉 弘喜 氏

質疑・応答 15:35～15:50

CSIRT 報告 15:50～16:00

EU-CSIRT